

特集 2 SCRUMによる プロジェクトマネジメント

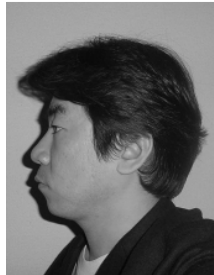
Agile Project Management with SCRUM



変革の時代におけるソフトウェア開発は、変化に対応するだけでは十分ではない。変化に対応するのは当たり前のことである。求められるのは、変化が自社にとって有利になるような戦略を実現することである。すなわち、変化の利用である。変化を利用するためには、企業や組織は俊敏（Agile）でなければならない。

橋本 隆成
HASHIMOTO, Takanari

科学的なソフトウェア開発アプローチを推進する部署に在籍。オブジェクト指向技術、テスト技法、CASE Tool 導入の社内推進業務および、CMMによる品質改善業務を担当。
VZA10247@nifty.ne.jp



(有)メタボリックス
山田 正樹
YAMADA, Masaki

(有)メタボリックス代表取締役。オブジェクト技術とソフトウェア・プロセスが専門。最近では特に両者の交差点となるモデル・ベース開発の実現に向けて活動している。モデル・ベース開発とSCRUMとはまったく矛盾しない。
masaki@metabolics.co.jp



- 第1章 ●●● SCRUMの誕生.....40
「適材適所」のソフトウェア開発
- 第2章 ●●● SCRUMのルール.....46
アジャイルなプロジェクトマネジメントの実践方法
- 第3章 ●●● SCRUM & XP, FDD.....56
マネジメントとエンジニアリングの相互補完関係
- 第4章 ●●● SCRUMの理論的背景.....63
「暗黙知」と「複雑系」と「状況論」

